

戦争する国にたくない！

—イラク派兵中止の声を出しましょう—

国連憲章に反するイラク戦争



—03年9月23日アナン国連事務総長の発言

昨年の国連総会の一般演説でアナン事務総長はこんなふうに言っている。
「(アメリカの)論理は、世界の平和と安定を、完全とは言えないまでも58年間保ってきた国連憲章の原則に対する根本的な挑戦だ。これが先例となり、大義名分の有無にかかわらず、単独行動主義と法を逸脱した武力行使の拡散を招くことを懸念する」。国連の長い歴史で、これほどまでに事務総長によってアメリカが批判されたのは初めてである。それほどアメリカによるイラク戦争は国連憲章にも、国際法にも反するものなのである。

戦争によってイラクは

アメリカが対イラク戦争を始めたのは昨年3月20日。世界最強を誇示する軍事力によって、5月1日には「戦闘終結宣言」を行い、フセインイラク政権は崩壊した。

核戦争防止国際医師会議英国支部の調査によると、米軍のイラク攻撃開始から昨年10月までに、老人・女性・子ども達を含むイラクの民間人の死亡は7800人から9600人、イラク人兵士の死者数は13500人から45000人と推定されている。SARSによる被害者数をあれだけ丁寧に報道する日本のマスコミが、なぜ亡くなったイラク人の人数を発表しないのか不思議である。米軍が言わないものは記事にもしないのか。

トマホークはもちろんのこと、クラスター爆弾、バンカーバスター爆弾、デージーカッター爆弾などの最新残虐兵器の実験場にされた。

住宅や道路、電気・水道などの生活関連施設が、学校も病院、そして、町が破壊された。使用された劣化ウラン弾は1100tから2200tとみられている。これは、ヒロシマ型原爆の2万～9万倍の放射エネルギーと試算もされている。

劣化ウラン弾に使われているウラン238の半減期は四十五億年、つまり永遠である。イラク国民はこの汚染の恐怖にさらされ続けるのである。

イラク国民がこの戦争を支持するであろうか、米軍による占領を支持するであろうか。



さいたま市教組情宣

さいたま市
教職員組合
(埼教組)

TEL 641-6763

FAX 648-3567

e-mail

saisikyouso@mx2.

et.tiki.ne.jp

2004.1.19(月)

No. 15

署名・抗議はがきへのご協力を

米政府の派兵要請に従う自民・公明政府

自公政府は「人道復興支援活動」と称している。「人道」といい、「復興」というが、どこの国が非人道的にイラクを徹底的に破壊したのであるか。

イラク国民がしたのではない。自然災害によるものでもない。アメリカが行い、続けてアメリカが占領しているのである。当然のことながら日本の自衛隊による「人道復興支援活動」はアメリカ軍の一翼と見なされる。

しかも日本の政府は、「フセイン残党の米軍掃討作戦の支援」「米軍武装兵員の輸送」「イラク人による米占領軍への抗議・抵抗運動の鎮圧の支援」といった活動もできるとしている。

イラク国民は自衛隊派兵を支持するであろうか。

イラク国民が希望するものは食糧、住宅、上下水道や道路の整備、病院・学校・工場の建て直し等である。あるいは、仕事である。ペットボトルに入った水や、医療品などが今もつとも必要なのである。

広がる派兵反対運動

昨年来、派兵反対運動が行われている。北海道の旭川で、沖縄で、日本の各地で、埼玉の各地で署名やデモが行われている。若者たちが、市民が、働くものが、宗教者たちが話し合い、集会を開いている。今年もすでに各地で行われている。自民党・公明党によるイラク派兵を中止させるために、声を出し合っていきましょう。

新年あけましておめでとございませう

年末の「ポーナスカンパ」にご協力いただき、ありがとうございました。昨年は、埼玉県知事選をはじめ、教育基本法改悪・イラク派兵反対など大きなたたかひを取り組みました。そして、厳しい情勢の中、新しい仲間を例年になく、多数組合に迎えることができました。今年も現場の声を生かした教育条件の向上、子どもを真ん中にした学校づくりの創造をめざしてがんばりますので、組合活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

執行委員長 前島 英男